

# 都城市立夏尾中学校の学力向上への取組

## 1 平成17年度の本校の学力調査結果及び意識調査結果等から見た課題

### (1) 学力調査結果等からの課題

本校における国語科、英語科については、全領域において平均到達度が高い状況にあり、確かな学力が定着してきている。他の教科については、平均到達度の高い領域等がある一方で、十分でないところも若干見られる。例えば、社会科では、社会的な思考・判断や観察・資料活用 of 技能・表現の観点については平均到達度は高い状況であるが、社会的事象についての知識・理解については十分でない状況が見られる。また、数学科では、数と式や図形の領域についての平均到達度は高い状況であるが、数量関係の領域については十分でない状況が見られる。今後、生徒の一人一人のよさを伸ばすとともに、それぞれの領域に即して、生徒の興味・関心を高め確かな学力の定着を図るための指導の改善が必要である。

### (2) 意識調査結果等からの課題

意識調査の各設問に対しては、本校の生徒は全体的に肯定的な回答をしているものが多いという状況である。肯定的な回答をしていない設問は、「分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している」「自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝えることができる」等である。今後、ねばり強くこつこつと努力する姿勢を支援したり、表現力を育成するための指導の改善を行ったりする必要がある。

## 2 学力向上に向けた課題解決への具体的な取組

### (1) 学力向上に向けた経営方針

人間尊重の精神を基調に、教育活動の全領域において、生徒一人一人の可能性を最大限のばし、生徒の自己教育力の育成に努める。

#### ① 学校の教育的課題

ア 小規模校の特性を生かした学力向上の推進

○ 授業における個別指導の工夫      ○ 朝自習の充実      ○ 読書活動の充実

#### ② 特色ある教育の内容〔少人数を生かした教育の充実〕

ア 教科の特性を生かした指導体制の工夫

イ 基礎・基本の徹底を図るためのきめ細かな学習の工夫（チャレンジタイム、ステップアップタイム）

ウ 幅広い教養と読解力を身につけるための読書活動の推進

### (2) 教育課程内の取組

#### ① 各教科における取組

ア 基礎・基本の定着を図るために、問題解決能力を育成する学習指導過程の工夫を行っている。

イ 授業内においては、個に応じた段階別課題や定期的な小テストなどを実施している。

ウ 5教科においては、共通理解のもと、授業実施の際必ず個に応じた家庭学習用の課題を出している。

エ 教科毎に、計画的に週末課題を与えている。

#### ② 校時程の工夫

ア 職朝を週2回（火・金）行い、他の3日間は、全職員で生徒の朝自習の個人指導にあたっている。朝自習は、積み上げの必要な国語・数学・英語の3教科にしばり実施している。さらに、定期的な小テスト等を行い、チャレンジタイムを利用して、確認・分析も行っている。

イ 帰りの会終了後、毎日の課題であるセミナープリントの解答・解説を全学年対象に行っている。その後、理解度の低い生徒に対してステップアップタイムを設け、個別指導を行っている。さらに、月1回程度、セミナーテストも実施している。

#### ③ 時間割の工夫

ア 年間を見通した時間割を4月に作成し、「A・B・C」の3パターンの時間割を交互に配列するなど、工夫を行うことで確実な授業時数の確保を行っている。

イ 出張、年休を事前に把握し、授業の入れ替えを前週の段階で行うことで、自習を一切な

	月・火・金	水
職朝	8:10～8:20	
チャレンジタイム	8:10～8:25	8:10～8:25
朝の会	8:25～8:35	8:25～8:35
1校時	8:40～9:30	8:40～9:30
2校時	9:40～10:30	9:40～10:30
3校時	10:40～11:30	10:40～11:30
4校時	11:40～12:30	11:40～12:30
給食	12:30～13:00	12:30～13:00
休憩	13:00～13:45	13:00～13:45
清掃	13:45～14:00	
5校時	14:10～15:00	13:45～14:35
6校時	15:10～16:00	
帰りの会	16:05～16:20	14:40～14:55
セミナー学習	16:20～16:35	14:55～15:10
ステップアップタイム	16:35～16:55	15:10～15:30
職員研		15:30～16:50
退	16:55	16:55

くし、学習の進度に影響が出ないよう配慮している。

#### ④ 校内研究の充実

ア 毎月1回、事前研・研究授業・事後研を1サイクルにして、授業研究会を行い、相互の授業力の向上に努めている。特に、学習指導過程においては、生徒一人一人に対して、学習内容の定着が図れるような授業の展開を意識した研究の推進を行っている。

イ 少人数であるため、相互の関わりによる「高め合いの学習」が展開されにくい実態が見られる。そこで今年度は、特に「聞く能力」「話す能力」の育成についての研究の充実を行っている。

#### ⑤ 生徒の授業評価を参考にした授業改善

毎月1週間程度、「学習態度育成週間」を設け、生徒による授業評価を実施している。さらに学期1回程度、教師の指導に対する授業評価を行っている。評価を行うことで、生徒、教師共に、授業に対する取組の問題点に気付付き、自ら自覚することで、さらに分かる授業の工夫改善につながるよう努めている。

#### ⑥ 興味・関心を高める学習環境づくり

興味・関心を高める工夫として、廊下や階段の掲示板、ボックスに各教科による問題の書かれたプリントを用意し、学習に対して、自主的にチャレンジできるようにしている。問題については、日頃授業で行っている内容は意図的に避け、興味が湧きそうな問題をできる限り取り扱うようにしている。学習環境の整備をすることで、自ら学ぼうとする意欲や態度が全生徒に広がってきている。

### (3) 教育課程外の取組

#### ① 朝の強化学習（3年）

始業前に自主的な学習の時間を設定し、セミナー等を利用して1、2年時の既習事項の振り返り学習を行っている。さらに、確認テストも行うことで、課題を明確にし、個別の指導の焦点化を図っている。

#### ② 休業日等の強化学習（全学年）

休業日等の部活動前の時間を利用して、プリント中心による自主学習を行っている。各教科とも弱点補強プリントを用意し、個別に集中して取り組ませることで、既習事項の定着が図れるようになっている。

#### ③ 読書指導の充実

第1・2学年は登校後始業まで朝の読書活動の時間としている。第3学年は、強化学習があるので実施していない。教師が内容の確認をした上で、興味のある本を静かな雰囲気の中で読ませている。

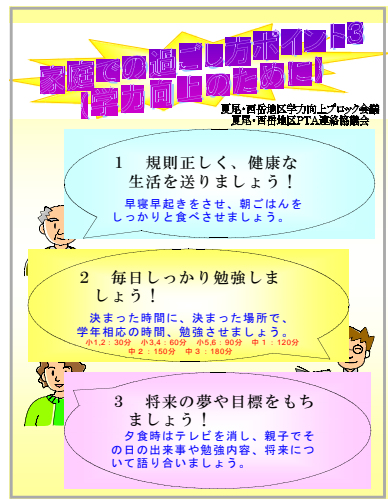
### (4) 保護者・家庭、地域との連携

#### ① すこやかチェックリストの活用（週末のみ実施）

毎週金曜日に「すこやかチェックリスト」（項目：起床・就寝の時間、排便のチェック、あいさつ、朝食の確認、テレビ・学習・読書の時間、手伝いの内容など）を生徒に配布し、保護者によるチェックをお願いしている。その結果、保護者の意識も少しずつ高まり、協力体制作りができてきている。

#### ② リーフレットの活用

西岳地区合同で作成したリーフレットをもとに、参観日の学級懇談時や学校だより等を通して、家庭におけるよりよい生活環境についての共通理解、共通実践を行っている。



【学力向上のためのリーフレット】

### 3 成果と課題（今後の取組を含む）

- 全教科において研究授業を計画的に取り入れ、事前・事後研究会を行ったり、生徒による授業評価を取り入れたことで、生徒・教師共に、積極的な授業改善を図ることができた。特に、個に応じた指導方法の改善については、これまで以上に意識が高まってきた。
- 朝のチャレンジタイムで行っているドリル学習や放課後のセミナー学習など、どれも落ち着いた雰囲気の中で取り組むことができた。教師が常に支援を行うことのできる場を設定したことで、生徒の理解度を把握でき、その後の個別指導にも役立てることができた。
- 保護者・家庭との連携においては、リーフレット等を利用して共通理解、共通実践を行ったが、家庭での学習時間や学習環境に個人差が見られた。今後は、保護者を含めた教育相談を充実させながら、家庭における教育力の向上にも努めていきたい。